

修士論文（要旨）  
2022年7月

中国における一人っ子政策下の親世代への介護予防サービス導入の可能性についての検討  
—中国河南省における実態調査より—

指導 中谷 陽明 教授

老年学研究科  
老年学専攻  
220 J 6902  
GU WENTING

Master's Thesis (Abstract)  
July 2022

Examining possibility of introducing preventive care services to the Chinese parent generation under China's one-child policy: A survey of the parent generation in Henan Province

WENTING GU

220J6902

Master's Program in Gerontology

Graduate School of Gerontology

J.F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yomei Nakatani

## 目次

はじめに .....	1
第1章 中国における一人っ子政策下の親世代と介護予防サービスの必要性	
第1節 中国における一人っ子政策下の親世代の現状.....	2
第2節 空き巣高齢者の増加とその課題.....	3
第3節 中国における介護サービスの現状-上海市を例として.....	4
第4節 介護予防サービス導入の必要性.....	6
1) 介護予防サービスとは.....	6
2) 日本における介護予防サービスの展開.....	6
第5節 本研究の目的.....	7
第2章 河南省濮陽市における調査	
第1節 河南省濮陽市の概況.....	9
第2節 濮陽市におけるアンケート調査	
1) 調査の対象と方法.....	9
2) 調査の結果と考察.....	10
第3節 濮陽市におけるインタビュー調査	
1) 調査の対象と方法.....	17
2) 調査の結果.....	17
3) インタビュー調査の考察.....	20
第4節 調査の総合考察.....	21
第5節 調査の課題と限界.....	21
終わりに.....	23
文献	
付録：アンケート調査票	

## 要旨

### 1. 研究の背景と目的

1979年から2014年まで続いた一人っ子政策下の親世代は、今後中国における高齢者人口の大半を占めることになり、特に2000年以降の10年間は、第二次ベビーブームの出生人口がすでに出産年齢に達している。2030年より彼らは高齢期に入り、中国における高齢者人口の25%を占め、第二次ベビーブームと計画出産政策の二重の影響により、一人っ子世帯の数が膨大になり、少子高齢化が加速している。さらに、地方経済の発展が遅れており、若い世代は大都市へ生活するようになる「空き巣高齢者」が急増することを示唆している。一人っ子政策下の親世代が、扶養や介護を、今後子どもに頼むのが難しいことは明らかである。したがって、要介護状態になることを予防するサービスを提供することは、今後の中国において、重要かつ有意義な政策課題となる。とりわけ、実験的に行われている「上海市長期看護保険試行方法」において、今後、日本の介護保険制度において実施されているような介護予防サービスを導入していくことは、大いに検討する必要がある。

本研究は、中国河南省濮陽市において、一人っ子政策下、第二次ベビーブーム時に生まれた中高齢者へのアンケートとインタビューを通じて、現在の中国では導入が進んでいない介護予防サービスの導入を検討するための基礎的資料を得ることを目的とする。

### 2. 研究方法および結果

河南省濮陽市において、アンケート調査とインタビュー調査を実施した。アンケート調査の対象者は、濮陽市第一石油化学工場団地に居住している50歳以上の中高齢者で、現在要介護の状態ではない、200人である。調査票はオンラインで配布し、無記名自記式電子質問表調査を行った。インタビュー調査の対象者は、アンケート調査の回答者の中からインタビューに応じた5人の中高齢者と、その中の中高齢者の娘1人であった。インタビューは、オンライン上あるいは電話で実施した。

アンケート調査の結果は、次のとおり。性別は男性30人、女性66人となり、女性は男性のほぼ2倍である。年齢については、「50～59歳」の回答者が78%を占めて、9割は自分が健康だと思っている。この団地に住んでいるのはほとんどが元国有会社の従業員で、年金と医療保険がほとんどあり、基礎的な老後生活の保障がある。75%の回答者が一人っ子世帯で、国有企業の従業員に対する一人っ子政策の影響が大きいことが明らかである。64.6%の回答者は将来看病や世話をしてくれる人は、配偶者である。将来の老後問題については、半分以上の回答者は心配である。84%の回答者が介護の状態にならないために、何かやっている。92%の回答者は体操、筋トレなどの運動に参加したいと回答した。加えて、介護予防チェックリストにより、介護予防ニーズの有無を判別し、関連する変数とのクロス集計を行った。配偶者、経済状況、家族形態、子どもの人数と訪問回数、老後問題についての不安感、社会参加といった要因が、一人っ子政策の親世代の介護予防ニーズとの関連性があることが明らかになった。

インタビュー調査からの知見は、次のとおり。非空き巣中高齢者と比較すると、空き巣中高齢者、特に一人っ子の空き巣中高齢者は、こどもが長い間そばにいないため、子供に扶養される期待値が低いので、施設に入居せざるを得なくなる。しかしながら、中国における老人ホームの現状が変わらない場合には、介護予防サービス導入の必要性が明らかになってくる。空き巣高齢者は他人との人付き合いが少なくなり、外部からの支援には拒否の態度を持っているため、引きこもり予防の支援が必要であると考えられる。中国では、高齢者は養生系製品の購入の詐欺には警戒心があるので、自分が知っている内容だけを受け入れたいことが明らかである。男性の回答者に比べて、女性は完全に引退しないので(家

事などは続ける)、自分は若い人のように働けるとしており、自分が年老いたことを受け入れたくないのだと思われる。

### 3. 考察

これまでの介護予防の研究対象者は、基本的に60歳以上の者だが、本研究の対象者の約8割は50～59歳である。中国において、これら50歳代は比較的若い年齢層で、介護予防は必要ないと考えていると思われる。しかしながら一人っ子政策下の親世代、とくに空き巣中高齢者は、そうではないかもしれないことが明らかになった。

介護予防ニーズがある者は介護予防ニーズがない者に比べ、配偶者がいない場合が多く、一人暮らしが多く、子供の人数が少なく、また子供の訪問回数も少ないことから、家族からの支援が中高齢者の心理的安定感や体調にプラスの影響を与える可能性があることがわかった。介護予防ニーズの高い者は、経済的ストレスも大きく、高齢期に入ると体調の衰えや、それに関連するさまざまな疾病リスクの増加により、健康面での支出が増加し、収入が少ない一人っ子政策の親世代は貧困に陥る可能性がある。将来の老後問題については、適切な老人ホームがなく、孤独になり、健康・疾患、自分の世話をすることができる人がいないという問題で、介護ニーズのある高齢者はさらに不安になり、心身の変化を感じているためか、老後の問題を心配し始めている。友達と会う回数が減少していることは、社会とのコミュニケーションが減少していることを意味しており、この場合の中高齢者の介護予防ニーズは、さらに高くなるだろう。このように、一般の中高齢者に比べ、一人っ子政策の親世代の介護予防ニーズは高いことが明らかになった、さらに高齢者一步手前の50歳代にも、介護予防サービスのニーズがあり、導入を検討した方がよいことが示唆された。

介護予防に対する受け入れ程度について、対人的な交際程度と関係がある可能性があり、人とのコミュニケーションがある場合、介護予防に対する期待度が高い。逆に、介護予防に懐疑的になり、介護予防に興味はあるが、だまされるのが怖いので、自分の知らない内容には受け入れがたい。ただし、知っている部分には受け入れ度が高い。女性は男性よりも自分の年を取ったことを受け入れにくいので、女性に介護予防を導入することを対象にした場合、健康を守ることをキーワードとすると、より受け入れやすいと考えられる。研究対象者は現在比較的若い年齢にあり、介護予防の重要性をまだ意識することができない。その中には予防に興味がない者が多いが、予防に興味がある人は、介護予防の導入対象であり、彼らは比較的健康的であるので、相対的に敷居の低い一次予防と二次予防を中心に提案するならば、彼らも受け入れやすいかもしれない。

### 4. 本研究の課題と限界

本調査の課題と限界は、以下のとおりである。①オンラインに変更したため、スマートフォンを使わない高齢者が多く、予想よりも回収数が少なくなった。②今回の対象者は、スマートフォンを使える者のグループなので、新しい概念を受け入れやすく、介護予防の導入への受容性が高いグループとも考えられる。③オンラインに変更したため、アンケート調査の説明書をよく読まず、質問項目を十分に理解していないことも考えられる。④電話でのインタビューのため、中国では中高齢者を狙った振り込め詐欺が多いので、見知らぬ人と電話することに若干抵抗心を持ち、回答の内容が不十分であることが避けられない。

## 文献

1. 中国国家统计局, 国勢調査のデータ, 閲覧日 2022 年 3 月, <http://www.stats.gov.cn/>
2. 豆丁、2020 年空き巣高齢者調査報告, 閲覧日 2022 年 3 月, <https://www.docin.com/p-2451432252.html>
3. 梁細静, 良家, 李琼蓮, 邓樹嵩: 百色市空き巣高齢者の日常生活能力と生活品質の相関性, 中国老年学雑, 37(9), 2017, pp. 2275-2277.
4. 吳振雲, 許淑蓮, 李娟: 老年心理健康アンケートの作成, 老年心理学雑誌, 1, 2002, pp. 1-3.
5. ジグモント・ボマン: 廃棄された生命—現代性とその捨て子. 南京: 江蘇人民出版社, 2006,
6. 張岩, 徐俊: 農村の空巣老人の「孤独死」現象の分析と対策研究, 齐齐哈尔大学学报, 2016 年 9 月版, pp. 63-64.
7. 楊曉秋, 任素琴, 錢遠宇: 部隊の退職高齢者のうつ病情緒に関する要素調査及び介入措置、現代看護、13(5), pp. 497-500, (2015)
8. Berry K, Barrowclough C, Byrne J, et al: Coping strategies and social support in old age psychosis, Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol, 1, pp. 280, (2015)
9. 楊慧康: 空巣・孤独・死亡—国内空巣老人孤独死社会の成因分析、湖北第二師範学院学報, 13(50), pp. 62-66, (2015)
10. 玲鳳, 施躍健: 都市空き巣高齢者の社会支持と心理健康状況との関係, pp. 118-22, (2008)
11. 史勇軍: 申旭波: 周遠忠: 王佩佩; 趙友容, 貴州省農村空き巣高齢者と非空き巣高齢者の生活の質比較, 浙江預防医学, 27(7), pp. 661-664, (2015)
12. 徐輝: 中国上海市における高齢者介護意識に関する研究
13. 2020 年上海の高齢者人口は 570 万人の空き巣老人が精神空き巣を最も恐れている, 閲覧日 2022 年 3 月, <http://sh.sina.com.cn/news/m/2016-09-07/detail-iExvqctu6440406.shtml>
14. 周緑林, 張笑天, 和田康紀: 日本介護保険制度の改革と参考, (2013)
15. 李茜: 介護保険から介護予防へ: 日本の改革とその影響, (2014)
16. 張麗波: 上海市長期看護保険の実施における問題と対策研究, (2019)
17. 周桐: 長護険における施設などの看護サービスのレベル向上経路の研究, (2020)

18. 厚生労働省, 介護保険, 閲覧日 2022年5月,  
[https://www.mhlw.go.jp/stE/newpage\\_25277.html](https://www.mhlw.go.jp/stE/newpage_25277.html)
19. 宋涛, 資源枯渇都市のモデルチェンジ研究—河南省濮陽市を例として, 佳木斯学院学  
報, 154, pp. 452-453, (2015)
20. 松井 美帆, 介護予防サービス利用者の自律性とソーシャルサポートとの関  
連, 64(2), pp. 8-13, (2017)
21. 孫文中, 生命過程と累積劣勢: 農村老年貧困人口の健康リスク研究, Academic  
Exploration ,12, pp. 62-68, (2018)
22. 候麗紅, 空き巣と非空き巣高齢者の健康期待寿命及び影響要素に関する研究, 中国衛  
生統, 36(4), pp. 489-492, (2019)
23. Li-Juan Liu, Health-care Utilization Among Empty-Nesters in the Rural Area of  
a Mountainous County in China, International Observer, 122, pp. 417-423, (2017)
24. 景軍; 吳濤; 方静文, 福祉多元主義の苦境中国養老機構が直面する信頼の危機、  
POPULATION & DEVELOPMENT , 23 (5) , pp. 66-73, (2017)
25. 庫 敏, コミュニティ空き巣高齢者の孤独感の現状と影響要素の分析, (2021).
26. A Dean 1, B Kolody, P Wood, Effects of social support from various sources on  
depression in elderly persons, (2019)
27. 王宏元: 社交活動が定年退職高齢者の主観的幸福感に与える影響に関する研究報  
告, (2012)
28. 中国新聞週刊, 閲覧日: 2022年6月,  
<https://www.weibo.com/1642512402/E7tEZcU9E>
29. 謝炳君: 典型的な詐欺情報の認識に対する高齢者の影響要素と対策提案, (2018)